

■発行日：2016年12月25日
■発行者：栃木県中小企業家同友会
〒321-0968

栃木県宇都宮市中今泉2-3-13
TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827

E-mail: t-doyu@ninus.ocn.ne.jp

URL: http://www.tochigi.doyu.jp/

■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤札堂印刷所



News Topic 01

全国の話題 ～人を生かす経営全国交流会 in 千葉の報告～

人を生かす経営全国交流会で 気づいたこと、発見したこと

11月17日(木)～18日(金)、千葉の東京ベイ幕張にて「第5回 人を生かす経営全国交流会 in 千葉」が行われ、全国から約430名が集まった。

初日は「人を生かす経営」の実践を進める取り組みをテーマに、パネルディスカッションが行われ、2日目は「労使見解」の歴史から今日的意義を学ぶをテーマに、田山氏による報告と梶谷氏からの問題提起が行われた。

グループディスカッションは2日合わせて190分間行われた。その中で最も勇気付けられた言葉を紹介したい。

「経営指針を社内に導入する際は、まずは社員から文句が出る。反論してはだめ。文句は本気なのでしっか

りと受け止める。文句への対処も、今できること、将来会社を良くしてからできることに分け、共に会社を良くしていくことについて議論を尽くす」

皆様もぜひ、中同協の熱い議論に直接ご参加いただき、多くの気づきを持ち帰っていただきたい。

【報告】共に育つ経営研究部会副部会長

斎藤秀樹／(株)ウィステリアコンパス



人を生かす経営全国交流会の様子

News Topic 02

栃木の話 題 ～公正取引委員会懇談会の報告～

独占禁止法は事業者が 守るべき「経済憲法」!

11月14日(月)、宇都宮東市民活動センター第一学習室にて、会員16名と公正取引委員会の官房監査官・奥村豪氏、政策評価係長・小林厚太氏と懇談会が開催された。

まず、奥村氏より「市場環境の変化を捉えた競争政策と公正取引委員会の役割」というテーマでお話をいただき、その後質疑応答、意見交換が行われた。

現在、下請法が50年ぶりに見直しが進められているというタイミングでの懇談会であり、その管轄行政機関の現状と方向性を聞くことができた。

資本金4440万円の当社にとって下請け事業者と親事業者の立場となる下請法は、何かにつけて関係する法律であった。その

下請法は独占禁止法の補完法であること。そして独占禁止法は「公正で自由な競争が確保されるために事業者が守るべき基本ルール」＝「経済憲法」とまで称されており、我々企業家にとって大切なものであることを再認識した。

【報告】代表理事 八木 仁／(株)シンデン



懇談会の様子

今後の 予 定

1月

1月県例会

報告者／特定非営利法人はばたき
理事長 広瀬 浩氏

【開催日】1/26(木)

【時 間】17:30～

【会 場】とちぎ福祉プラザ
(宇都宮市若草)

2月

第47回中小企業問題 全国研究会 in 鹿児島

【開催日】2/16(木)～17(金)

【時 間】13:00～

【主 催】鹿児島県中小企業家同友会

2月県例会

報告者／ただいま調整中

【開催日】2/20(月)

【時 間】17:30～

【会 場】宇都宮市東市民活動センター
(中今泉)

■活動報告 01 10月県例会(設営／県南支部)

報告者の熱意が伝播し、 白熱した議論に

10月26日(水)、宇都宮市民活動センターにて10月県例会が開催された。テーマは「事業承継、迷路のナビは同友会にあった!! 露天道具製造販売会社の『ナンニモセンム』1年の学び」。報告者は入会2年目のタカマチ産業(株)専務取締役山寄俊也会員。「いざ来る事業承継に対し知識もなく、得体の知れぬ不安に苛まれていた日々だった」と、入会前の自身を語っていた。

偶然出会った同友会は正に「蜘蛛の糸」に見えた

という。すぎる思いでの入会から現在まで、多くの学び、気づきがあったと山寄会員は熱く語った。

その後のグループ討論のテーマは「事業承継にあたりどんな悩みがあるか? その解決にあたり同友会をどの様に活用しているか?」。山寄会員の熱意が伝播し、白熱の議論となった。新旧会員が同友会の持つ力を再確認した素晴らしい例会となった。

〔報告〕 県南支部副支部長

福田忠史／プルデンシャル生命保険(株)



山寄俊也氏

■活動報告 02 11月県例会(設営／県央支部)

温故知新! インフレ知らない 経営者、インフレを学ぶ

11月28日(月)、東市民活動センターにおいて11月県例会が開催された。タイトルは表題の通りで、報告者は(株)ウィステリアコンパスの斎藤秀樹氏、(株)堀井の堀井宏祐氏、(株)ビジュアルの深澤義雄氏の各代表3名。

これまでの日本経済の歴史から時事問題(トランプ氏大統領就任の影響)などを交えて幅広い報告であった。中でもオイルショックからバブル経済、インフレ・デフレと実際に体験してこられた経営者の報告は生々しく、また、生き抜いてきた時代の考察

については、目まぐるしく環境が変化する現代に対応していなくてはならない我々にとって大きなヒントになった。

グループディス

カッションではインフレ・デフレなど必ずしもそれらの現象をマイナスと捉えるのではなく、業種ごとに具体的なシミュレーションが必要など、未来を見据えたポジティブな意見も散見された。

〔報告〕 県央支部副支部長

中村悟志／(株)アクティチャレンジ



11月県例会の様子

■活動報告 03 経営指針セミナー(設営／共に育つ経営研究部会)

自身の成長を実感した 2016年度経営指針セミナー

6月からスタートした2016年度の経営指針セミナーは、12月3日(土)の第8回をもって全日程を終了した。

昨年度に比べて今回は、全8回通しで参加する会員が増え、また、オブザーバーの参加も目立つなど、活況を呈するセミナーとなった。

私自身は2014年度以来、3年連続で参加しているが、特に今年度はこれまでの学びの蓄積から理解度がグーンとアップした。当初はちんぷんかんぷんだった「経営にまつわる数字」に関しても、少しずつ理解できるようになった。

ついには、苦手としているExcelを使って変動損益計算書づくりに着手。変動費と固定費に分けて数字を入力していくと、自社の本当の姿が見えてきた。

これは大きな進歩だった。自身の成長を実感できる場を設けていただいた共に育つ経営研究部会の方々に感謝したい。

まだ先の話だが、2017年度の経営指針セミナーは来年6月からスタートする予定とのこと。

〔報告〕 広報委員長

鈴木正則／アデラ・コンテンポラリー



第5回経営指針セミナーの様子

■ 栃木同友会に関する資料請求はこちらまで ➡ FAX 028-612-3827

貴社名	役職名・氏名	
住所 〒		
TEL	FAX	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、各種ご案内ならびにお問い合わせ対応のみに使用し、第三者への開示は一切ありません。